

メンデルスゾーンもきつと食べた イギリス家庭料理

三月三日という日は、音楽界にとって忘れられない日のひとつである。というのは、音楽史上に残る三曲の傑作が初演された日なのだ。

一七九四年、ロンドンでハイドンの交響曲第一〇一番「時計」が、一八四二年、ライプチヒでメンデルスゾーンの交響曲第三番「スコットランド」、一八九九年にはフランクフルトでリヒャルト・シュトラウスの交響詩「英雄の生涯」がそれぞれ演奏された。

メンデルスゾーンは、一八二九年二十歳のとき初めてイギリスに渡り、ロンドンでの演奏会のちスコットランドを訪れている。そして、その時の印象から「スコットランド」の楽想を得た。

彼はエディンバラに来て古城ホルロードを見物する。

この城は女王メアリー・スチュアートと寵臣リジオの悲劇で名高いところであった。この城を見たメンデルスゾーンは、「今日、私はあの古城の中で、私のスコットランド交響曲のはじめの旋律が思い浮かんだ」と記している。しかし、この曲が完成したのは十二年後で、

ビクトリア女王に捧げられた。

ところで彼の愛したイギリスの代表料理といえば何だろう。イギリスにはおいしい料理なんてないと悪口を言う人もいるが、そんなことはない。リンボー先生を持ち出すまでもなく、イギリスはおいしい。

ローストビーフもあるが、イギリスらしい料理となるとステーキアンドキドニーパイ(牛肉と腎臓のパイ)をあげねばなるまい。

牛肉の赤身と腎臓を二対一の割合で角切りにし、香料入りの小麦粉をまぶす。これをマッシュルーム、タマネギと一緒にバターで炒め、厚手の器に移して塩、コショウ、シエリー酒、ウスターソースで味付けする。その上にパイ皮をかぶせオーブンで焼き上げる。これぞイギリスの家庭の味である。

